

法寺ノ舊記ニ、永正八年鎌岩燃ルト有バ、カシマンハ附會シテ云歟、煙ハ今モ立コト有ト云フ、
七合目、此邊路並險ナリ、此間小屋九軒アリ、駒ガ嶽ト云所ニ、聖德太子并ニ銅馬ヲ安ズ小屋アリ、

略○中

七合五勾、小屋三軒アリ、此所ヨリ遠望スル諸山ノ方位、大抵谷村ノ縣吏菊田叔德測量ノ術アリ、
丙子七月、登臨スルトコロヲ手記シ歸ル、今モ記ニ從フ、

甲州八ツガ岳亥ノ二分信州淺間山亥ノ八分、此地ヨリ測量スル

上州三國峠子ノ七分野州日光山子ノ九分武州高尾山丑ノ六分相州大山寅ノ七分江ノ島

卯ノ四分此等皆兒孫ノ如ク、堆雲ノ間ニ點綴ス、此地既ニカクノ如シ、快晴ノ日、絕頂ヨリ臨
メバ、志州ノ鳥羽ノ湊マデ見ユルト云フ、

東ニ突出スル岩ヲ龜谷ト云フ、形狀ノ似タレバ、ナリ、ワヅカニ上レバ、烏帽子岩ト云フ、岩アリ、行
者六世身祿入滅ノ地ナリ、遺骨年久シク存セシヲ、彼ガ派ノ隆ナルヲ妬ム者アリテ打碎タルニ
ヨリ、身祿ガ法弟田邊十郎右衛門吉田口拾ヒ收テ別地ニ埋ム、其地ハ一子相傳ニシテ、信心ノ行
者モ知ルコトナシト云フ、烏帽子岩ヨリ上愈險惡ニシテ定マレル路ナシ、人々意ニ任セテ焦土
ヲ行便ニ隨テ砂石ヲ踏ム、一步進レバ半歩退キ、雲霧ハ跟底ヨリ生ジ、乍晴乍陰ル、

八合目、駿州須走口此ニ合シテ一路トナル、故ニ大行合ト云フ、吉田ノ管スル小屋五軒、内大小屋
ト云フ者一軒、須走ノ管スル小屋二軒アリ、渾テ此ヨリ上ハ一切駿河ノ持分ニテ、吉田ハ關ルコ
トナシ、登攀ノ者、早天ニ吉田ヲ發シ、日暮ニ此ニ到ル、須走口モ亦同ジ、故ニ此ニ投宿スル者、十二
八九ナリ、打火料百六十四文、蒲團一つノ料百文、薄キコト紙ノ如ク、冷ナルコト鐵ノ如シ、食ハ雜
炊糜粥ノ類、飯ハ龜糰ニシテ食シ難シ、スペテ麓ヨリ各人齋來ル、食モ梅干ノ外味變ゼザル物ナ
シト云リ、此地暮雲日色ヲ帶、亥ノ刻頃マデ散ゼザル故、夜甚暗カラズ、丑ノ刻ニハ東方既ニ白ム